

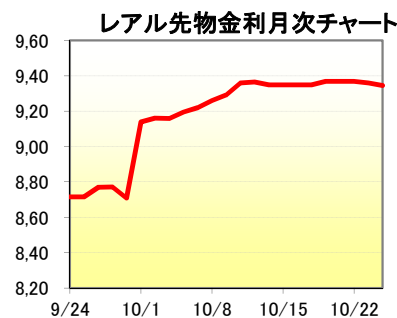
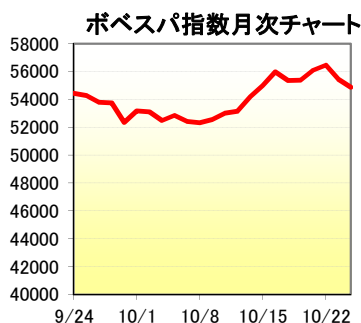
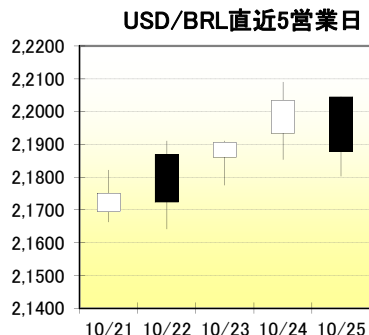
## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 1. マーケット・レート

			10月21日	10月22日	10月23日	10月24日	10月25日	Net Chg
Forex	USD/BRL	Spot	2,1770	2,1720	2,1890	2,2040	2,1880	-0,0160
	USD/YEN	Spot	98,21	98,14	97,39	97,28	97,40	+0,1200
	EUR/USD	Spot	1,3678	1,3784	1,3780	1,3802	1,3814	+0,0012
	BRL/YEN	Spot	45,09	45,18	44,45	44,16	44,54	+0,3800
Swap	Dollar Clean	6MTH(p.a.)	1,34	1,31	1,25	1,27	1,23	-0,0329
		1Year(p.a.)	1,58	1,54	1,45	1,49	1,51	+0,0278
	Real Interest	6MTH(p.a.)	10,02	10,25	9,98	10,02	9,94	-0,0750
		1Year(p.a.)	10,45	10,41	10,37	10,42	10,38	-0,0407
Stock	Bovespa		56.077	56.460	55.440	54.877	54.154	-723,00
Bond	CDS Brazil 5y		150,00	159,88	157,17	159,66	162,00	+2,3450
	Global 40		117,750	117,125	117,125	117,130	117,000	-0,1300

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。



## 2. 主要経済指標

## 3. 要人コメント

イベント	予想	実績	前回	なし
FIPE CPI-週次	0.44%	0.39%	0.37%	
経常収支	-\$2300M	-\$2629M	-\$5492M	
対内直接投資	\$4800M	\$4770M	\$3775M	

## 4. 週間市況、トピックス

- 今週の為替相場は  $US\$1=R\$2.1700$  で寄り付いた。
- 週初は伯中銀がドル売りスワップ需要の問い合わせを実施したことから同中銀が引き続きドル売り介入を実施するとの期待感からリアル買いが優勢となったが、その後資金流出の噂から反落した。しかしリブラ油田開発入札が無事実施されたことが好感されるとリアルは 2.17 台前半まで買い戻された。
- 翌 22 日には伯中銀は 10 億ドル（総額 90 億ドル）分のドル売りスワップをロールしたことから同中銀が 10 月末満期の 90 億ドル全額をロールしない可能性があるとの思惑からリアルは 2.19 台前半まで続落した。しかし米雇用統計が予想を下回る結果となったことから金融当局が緩和策を継続するとの見方が強まり、ドルは対主要通貨で下落しリアルも週間高値  $US\$1=R\$2.1640$  まで反発した。
- 週中には中国の短期市場金利が 6 月以来の大幅上昇となったことが嫌気されたほか、大口の資金流出の噂が聞かれると、リアルは一気に週間安値となる  $US\$1=R\$2.2090$  まで反落した。
- 週末にかけては伯中銀が来週にかけても 10 月末満期のドル売りスワップのロールを実施すると発表したことが好感され、リアルは一気に 2.18 台後半まで反発し、結局  $US\$1=R\$2.1880$  で越週した。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したもののですが、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A



## 5.来週発表される主要経済指標

日付	イベント	期間	予想	前回
10/28	FGV建設コスト(前月比)	Oct	0.35%	0.43%
10/28	貿易収支(週次)	Oct 27	--	-\$1569M
10/29	ローン残高(前月比)	Sep	--	1.3%
10/29	融資残高	Sep	--	2578B
10/29	個人ローン・デフォルト率	Sep	--	7.1%
10/29	Private Banks Lending	Sep	--	1271B
10/29	中央政府財政収支	Sep	0.3B	0.1B
10/30	FGVインフレIGPM(前月比)	Oct	0.92%	1.50%
10/30	FGVインフレIGPM(前年比)	Oct	5.32%	4.40%
10/30	PPI 製造業(前月比)	Sep	--	1.48%
10/30	PPI 製造業(前年比)	Sep	--	5.97%
10/31	純債務対GDP比	Sep	34.0%	33.8%
10/31	Nominal Budget Balance	Sep	--	-22.3B
10/31	基礎的財政収支	Sep	1.0B	-0.4B
11/1	FGV CPI IPC-S	Oct 31	0.50%	0.49%
11/1	鉱工業生産(前月比)	Sep	1.2%	0.0%
11/1	鉱工業生産(前年比)	Sep	3.0%	-1.2%
11/1	製造業購買担当者指数	Oct	--	49.9
11/1	貿易収支(月次)	Oct	\$1529M	\$2147M
11/1	総輸出	Oct	\$23400M	\$20996M
11/1	総輸入	Oct	\$21913M	\$18849M
11/1	自動車販売台数	Oct	--	309879

## 6.来週の為替市場注目点

予想相場レンジ : 2.13-2.23

今週はリブラ油田開発入札が実施され、期待されていた資金流入は 150 億レアル相当の資金のうち 80 億レアル程度が市場経由での資金流入となるとマンテガ伯財務相はコメントしている。レアル相場への影響としては金額的には多額ではないほか、既に全額または一部の資金が流入済みである可能性もあるため、リブラ入札の資金流入によるレアル市場への影響は限定的となろう。また、伯中銀によるドル売りスワップのロールを巡って市場では伯中銀のスタンスを試す動きが見られ、レアルは売り進まれた。同中銀は来週にかけてもロールを行うと発表したことからレアルは反発したが、市場では伯中銀は全額よりもあと 30 億ドル程度のみロールするとの思惑が強まっている。来週は国内では貿易収支や鉱工業生産等の重要な経済指標の発表を控えている。欧米では多くの経済指標が注目されるが、中でも米 FOMC は重要視され、QE3 縮小に関するヒントが出されるかどうか注目が集まっており、内容次第ではレアルを含むエマージング通貨への影響も大きいと考えられるため引き続き注意が必要であろう。

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願い致します。当資料は信頼できる情報源から得た情報に基づき作成したのですが、その情報の正確性、安全性を保障するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料を使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。

Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A Treasury Department